

## 何でも読もう会

書物名	『ラストドリーム』 志水辰夫	開催 日時	2022.9.6	推薦	清水
巻・章	全編		Zoom	出席者	9名
<p>志水辰夫こと「シミタツ」さんの長編小説。彼はハードボイルドからスタート、サスペンス、恋愛物、何でもござれの多彩な人らしい。</p> <p>「日本株式会社」がこぞって海外進出を始めた昭和後期からバブル前後の企業戦士とその妻が中心の物語。わがOBペン諸氏、特に商社OBには懐かしい話である。</p> <p>食品専門商社員がワンマン社長の号令一下、台湾に、タイにエビの養殖事業の足がかりを求めて日本を飛び出し、諸々のしがらみの中で苦闘する。折角呼び寄せた妻は夫の帰りを待つだけの日常。待望の赤ちゃんを流産し、その時の輸血の影響でガンにかかって——。それでもギリギリになるまで職務から解放されない夫。</p> <p>そういう時代が確かにありましたね。我らの時代の企業戦士は似た話を沢山知っています。</p> <p>この小説は妻を亡くした主人公が茫然自失、一過性健忘症にもなって北海道内の僻地にさまよい込む所から始まる。そこでの不思議な出会いと全く別の世界の別の物語。それが行きつ戻りつ舞台が交互に入れ替わり、時間が過去と現在を交差して展開する。</p> <p>読後の感想では「夢とうつつが混同して読みにくい」「何がテーマなの」「女性蔑視が目についた」など手厳しい意見が寄せられた。特に企業戦士の苦闘・挫折と夫婦愛のどちらが主テーマか重心が定まらないとの声が多かった。</p> <p>シミタツさん、今回はあれこれ書きすぎたのでは。</p>					